

# 共育共生

NPO法人

ジュニアアウトクラブ

自然を愛する会 J O C

平成23年度 春号

平成23年05月20日 発行

発行元 熊本市新屋敷1丁目14-30

(株)シェルパ内

TEL096-366-9411

HP <http://sankin.jimdo.com/> 広報担当 三牧

## 理事長のひとこと NPO法人自然を愛する会JOC 理事長 齊藤 誠 治

東日本の大震災から2ヶ月半になろうとしています。皆さんは、この出来事を如何受け止められているでしょうか。先ずは、被災地の皆さんや御家族・御親戚・友人が被害に遭われている方々にお見舞い申し上げます。また、今回の災害で亡くなられた方々へ哀悼の意を表します。自然を愛する会では、阿南会長を中心に、今年になって8回にわたる霧島山系新燃岳の火山灰除去作業支援が行われ、3月には東日本大震災支援準備委員会が作られました。4月初めには百姓委員会を中心に、コンテナで50ケースものカライモを積んで、今後の支援策を考えるための視察を兼ねての応援隊が東北の仙台方面へ行ってきました。滞在中には震度6強の余震に遭ったりもしたようですが、私達を代表して現地へ行って頂いた御蔭で、今後の支援対策がより具体的になっていくと思います。火山灰の除去には12名が、東日本の被災地には4名の学生リーダーが参加し現地で活動をしてきました。これからも暫くは東日本の支援活動を続けていくことになるかと思えます。会員の皆さんには、被災地へ出向き働いてくる自然を愛する会の「被災地応援隊」への活動支援金を御協力頂ければ大変助かります。昨年私はこの会報で、「何か変ですね」と書きました。一昨年は新型インフルエンザ流行、昨年は口蹄疫騒ぎ、そして新燃岳噴火、今回の大震災です。やはり地球上での人間の営み、特に先進国といわれる国の人達の贅沢や身勝手な生活が、自然環境等に悪い刺激を与え、巡り巡って様々な問題等を発生させているのではないのでしょうか。津波の被害や原発の放射能の怖さを知って、また問います。皆さんは、地球に優しい生活が来ていますか。自然と共に育ち自然と共に生きる生活が少し位は出来ていますか？有難みを知り、感謝する。一人一人が皆のことを考えて行動することが出来たなら、どんなに素晴らしいことでしょう。私達大人から子ども達の手本でありたいものです。子ども達には物の豊かさや便利さよりも、自然体験活動を通じて本当の意味で生きる力を付けさせたいと思っています。非常時にもプラス発想で何とか助けあって乗り越えるだけの力と心の豊かさを育みたいと思います。夏は目の前です。先行予約案内も今回の会報の中に掲載しています。是非お友達にも宣伝して頂き、お申し込み御参加下さい。今年も、暑い・熱い・厚い・篤い、夏になりそうです。

## 理事のひとこと 「私のキャンプ」 上野和法

昭和30年敗戦後10年。物不足でも大人たちの日本社会の復興への自信は、子供心にも明日への希望がありました。

各地のキャンプ場も再開、最初のキャンプは引率の先生に連れられて、海水浴場で泳ぎ三角テントに2泊。次に高校生になり、友人3人で昔のリュックに炊事用具等を背負い、南九州をキャンプ旅行。汽車に乗り駅に降り、山道を何時間も歩き、キャンプ場に到着。食事の準備・夜の賑わい・朝のにおい・・・見知らぬ町を歩いた楽しい思い出です。その後家族も出来、仕事もがんばる中、キャンプ講習を受講しました。土曜日半日の時代が来て、家族で土曜の午後から各地のキャンプ場に出向き、日曜深夜に帰るようになりました。自然への感動・歴史文化への興味・健康な体はキャンプ旅行のおかげです。

キャンプに参加する皆さん、遊びましょう・楽しみましょう・好きになりましょう。

長い目で主催キャンプの目標・目的はそれなりに達成できると思います。

私の人生は甘い。